

いわみざわ

行地 岩見編 司令業務室 岩見編司令業務室

月間目標 安全運転

二年連続の総合優勝

一団冬季戦技競技会



喜びに湧く第12施設群



第十二施設群は、昨年十二月十日以来、特別戦技訓練隊を編成、「訓練に泣き、戦いに笑え」「燃えろ闘魂、第十二施設群」をスロガンに、必勝を期し、正月休みも返上、厳しい訓練を続けた。大会数日前から寒波とともに群主力選手の半数近くに風邪患者が続出したが、大会当日には隊員一人一人が訓練に泣いた厳しさを思い出し、最後の最後まで根性を奮揮し、群の逆転総合優勝を成し遂げた。この日、好天に恵まれたとはい

タイ国王から勲章受勲

岩見沢駐屯地司令、佐藤榮一佐は一月二十五日、タイ国大使館において、フミボン、デデュリアデツ国王から贈られた白象最高勲章（勲三等一騎士）を、ウイチェン大使から伝達された。勲章には、司令が五十二年十月から五十六年七月、在タイ日本大使館防衛駐在官として勤務中、積極且つたゆまず努力し、タイ王国軍と自衛隊との緊密な友好関係の

え、日中の気温はマイナスイ度、力走する隊員の汗、鼻水は凍り、吐き出す息も真白、見学・応援者も寒さをものともせず、風隊の伝統と名誉にかけて頭張る選手に盛んな声援を送っていた。

- 優勝 第十二施設群
- 準優勝 第一施設群
- 三位 第十三施設群



群冬季戦技競技会に技友会岩見沢支部より、記念メダル五十四個、甘酒用粕二十四キロ、砂糖四十キロの寄贈がありました。

前進確化を図り、自衛隊に対する絶大な信頼の念を抱かせたと記されている。白象は、タイでは昔から栄光と幸運の象徴とされ、一八〇九年から一九一七年まで国府の中央に入れられていた。そのようなことから、タイ国の勲章は、白象（旭日章相当）と王冠（瑞宝章相当）の二種に区分されている。防衛駐在官勤務者で勲章を交換している国は、米、独、韓、仏、タイの五箇国である。

猛訓練克服

57冬季戦技競技会を振り返って

二月三日の午前中、会う人が皆んな申し合せたように気の毒そうな顔をするので、小一時間程、雲隠れしておりました。それでも未だ雲を捨てられず、階級別リレは第一走者から、スタート、ゴール付近で応援を続けておりました。昨年の十二月十日以来、日曜は勿論、正月も休み返上で、五十七年度団冬季戦技会「群総合優勝」を目指して頭張つてきた成果が目前で展開しているのです。一士から七士へ、七士から三曹へ、次々とリレーされる毎に勝利の灯が段々大きくなつて、結果は劇的な逆転総合優勝！風邪やけんしよう炎の痛みもふつ飛んでしまいました。今回の競技会に対する一番の悩みは、五十七年度の団競技会の最後であり、これまで未だ優勝してないのは十二群だけで、今回は絶対に優勝しなくてはならないという精神的な圧迫でした。また、会場が岩見沢と決まつてからは、地元のリをもつて優勝は十二群になりまして。選手諸君は、これらの圧迫をはね返し見事に優勝勝ちとつたのですが、ここまで来るには、休み返上の練習は勿論のこと、一月末の風邪の猛威に打ち勝つたこと、まもなく五十歳を迎える曹長、一再の頭張り等々いろいろ思い出しますか、何といつて

も階級別リレーに出場した陸十諸官の頭張りや印象に残っています。全員練習時の記録を大幅に上まわした、訓練中、全く休みなしで走り続けられた選手諸官の留守を守つた御家族の皆様、そして連続して勤務について選手を練習に専念せしめた隊員諸官の効力があつたことも見逃せません。

「群総合優勝」のために十二群の全員が、家族を含めて大きな力を発揮したのだなあ、と改めて感慨にひたつております。

「自ら実行して得た体験は永遠の宝である。」

苦しかつた五十七年度も、年度の最後で輝かしい優勝という大きな宝、体験を得ることができました。スキーは終りましたが、五十八年度は五月に銃剣道競技会があります。

一人は自己の信ずる価値のために生きる。」と言います。自己の信ずる価値のために、次は銃剣道を目標として頑張ろうではありませんか。

一 新戦力後期教育終了！

五十七年七月に入隊し、後期教育を受けていた新隊員十七名の終了式が、一月二十九日隊長、幕僚、



大掛 忠三尉
 停年1月26日
 本部中隊所属
 自衛隊生活
 三十二年四箇月
 現住所は岩見沢市五条西七丁目



小林良一准尉
 停年2月22日
 本部中隊所属
 自衛隊生活
 三十一年五箇月
 現住所は岩見沢市日の出南一丁目

停年退職者の紹介

大掛三尉は新潟出身で、二十五年九月、東京管区警察学校に入隊。久里浜、松本、金沢駐屯地を経て二十七年岩見沢に着任、現在に至る。この間、診療班曹、薬剤係、衛生救護班曹、救護班長、衛生運用幹部等を歴任、就職先、岩見沢市セオ臨床検査センター



高橋政彦准尉
 停年2月27日
 本部中隊所属
 自衛隊生活
 三十二年六箇月
 現住所は岩見沢市桜本一条七丁目

高橋准尉は岐阜出身、二十五年八月に大阪管区警察学校に入隊。舞鶴、水島、福山、伊丹駐屯地を経て、三十七年岩見沢に着任、現在に至る。この間、物品出納係、管理係、訓練係、部隊補給班曹、付准尉、補給班長等を歴任、就職先、山形町北海道ゴム工業株式会社内定

小林准尉は美明市出身、二十六年二月帯広第四連隊に入隊、三十二年岩見沢に着任、現在に至る。この間、庶務班曹、施設機械整備班曹、車両主任、先任班曹、業務幹部、援護幹部等を歴任、就職先、岩見沢市内警月会計事務所内定



入江昭治三佐
 停年3月2日
 業務隊所属
 自衛隊生活
 三十二年五箇月
 現住所は札幌市白石区川下

入江三佐は京都出身、二十五年十月大阪管区警察学校に入隊。舞鶴、宇治、立川、勝田、苗穂駐屯地を経て、五十四年岩見沢に着任、現在に至る。この間、施設小隊長、中隊長、苗穂支延技術科長、駐業補給科長、厚生科長等を歴任、就職先は未定

各中隊長列席の下、厳粛に行われた。

隊長から學術優秀者が表彰された。この三箇月間に培つた技術、体力、同期の団結をもつてそれそれの配置部隊の戦力となるよう、一と訓示があり、十二箇設隊に七名、十三箇設隊に二名、一〇五箇設隊に五名、一〇六箇設隊に三名それぞれ新戦力として配属されました。一月十九日に終了式に先立ち、一月十九日に



一 連盟スキー検定！

スキーシーズン真盛り、今年も岩見沢スキー連盟では、スキー講習会・検定等を行つております。二月以降の日程は次のとおりです。

講習日 二月十二日(土) 十三日(日)

検定日 二月二十六日(土) 二十七日(日)

三月五日(土) 六日(日)

広報班では皆様の声をたくさん掲載したいと思っておりますので積極的な投稿をお待ちしています。

広報班